

医学系研究科修士課程

看護学専攻(修士論文コース・高度実践コース)

より優れた看護実践者・看護指導者・看護研究者を目指して

目的と使命

大学院医学系研究科修士課程看護学専攻は、より高い専門性を持った看護実践者の養成、看護学研究者、看護学教育者の育成を目的とし、平成12年に開設されました。

入学者受入方針

アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

1. 論理的思考力と問題解決思考力を有し、看護の研究を志す人(思考・判断)
2. 専攻する領域の専門的知識と技術を有し、実践力のある人(知識・技能)
3. 専門看護師として、看護実践・研究に指導的役割を担う意欲のある人
4. 地域における保健・医療・福祉の向上に貢献する意欲のある人
5. 研究や問題解決に主体的、学際的に協働して取り組むために必要なコミュニケーション能力を備えている人
6. 保健医療福祉におけるニーズを持つ人に関心を寄せ、倫理的思考と態度を有している人(態度)

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」で示す能力等を多面的に評価するため、小論文、口述試験(志望する専門領域に関する事項)の結果及び成績証明書の内容を総合的に審査して選抜します。

小論文においては総合的学力を、口述試験においては探求心、研究への意欲等を評価します。

教育方法の特例

看護職者の生涯教育を支援するために昼夜開講制を導入し、現職のまま修学することができます。

修業年限・定員

就学年限は2年を標準としています。所定の単位を習得したうえで学位論文(高度実践コースは、特定の課題についての研究の成果を含む。)を提出し、その審査及び最終試験に合格した者には、修士(看護学)の学位が授与されます。入学定員は16人、収容定員は32人となっております。

専攻・コース・領域

専攻名	看護学専攻		
コース名	修士論文コース	高度実践コース	
領域名	看護管理学／基礎看護科学／生体防御学／看護教育学／精神保健看護学／公衆衛生看護学／健康教育開発学／小児・家族看護学／母性看護学／助産学／高齢者看護学／成人看護学／基礎看護学／在宅看護学	がん看護学(がん看護CNSコース) 高齢者看護学(老人看護CNSコース)	

学位論文題目

- 就労する母親のワーク・ファミリー・コンフリクトと父親の育児不安との関連
- 女性消防吏員の職務意欲に及ぼすストレス要因に関する研究
- 下部尿路症状を有する女性患者に対する外来熟練看護師の排尿ケア
- 大学病院に勤務する看護師が捉えた看護師長の変革型リーダーシップと職場コミュニティ感覚との関連
- 急性期病院のMSWIによる外来ソーシャルワークの実態
- 過疎市町村に所属する中堅期保健師のモチベーションに影響を与えた生活体験
- 市町村保健師の災害を予測する心理的反応に影響を及ぼす要因
- 自発的継続学習を実施している中堅看護師が学び続けることのできる要因
- 地域組織活動を通して中堅期保健師の成長を促した経験
- フライトナースの首尾一貫感覚と仕事意欲の関連
- 進行肺がん患者の身体機能とADL・QOLの関連性の検討およびがんリハビリテーションに関する考察
- 2歳児における総IgE、特異IgEの傾向と関連する要因
- 地域在住高齢者の咀嚼能力と嚥下機能低下リスクの関連
- 看護計画協働立案に参加した高齢糖尿病患者が自己決定を体験する意味



Voices of students | 学生の声

がん看護専門看護師を目指して

くぼ ゆりか | 大学院医学系研究科修士課程 第2学年
久保 百合香 | (看護学専攻高度実践コース がん看護学領域)

大学を卒業後、消化器内科病棟に配属され、そこではがん患者さんと多く関わらせていただきました。中には、亡くなられていく方もおり、看護の力で良い最期を支援できた方もいれば、この患者さんの最期はこれでよかったのだろうかと思うお看取りもありました。より良いケアを確実に提供できるようになりたいという思いから、がん看護専門看護師を目指し、大学院への進学を決めました。

院生としての生活は、日中は仕事をし、夜は授業や課題という日々を送っています。働きながら大学院で学ぶことは、簡単なことではありませんが、自分の目指す看護に向けて取り組む学習は楽しくもあり、充実した日々を送ることができています。志を高く持つ院生仲間とも出会い、さまざまな年代、役職、領域の立場からお互いの看護観を語り合う機会は貴重な時間であり、自分の中での新たな気づきや視野の広がりを感じています。

是非、皆さんにも、大学院で学びを深め、物事の見え方が変わっていくこの経験をしてもらいたいです。いつの日か高度実践者として、共に働ける日を楽しみにしています。